

三菱標準形エレベーター“AXIEZ”の モデルチェンジ

鈴木稔也* 佐野恵美子***
岩本秀人**
鹿井正博***

Machine Room Less Elevator "AXIEZ" with Model Change

Toshiya Suzuki, Hideto Iwamoto, Masahiro Shikai, Emiko Sano

要 旨

三菱電機の国内標準形エレベーター“AXIEZ(アクシーズ)”は、移動性能(MOTION)、省スペース(SPACE SAVING)、快適性(COMFORT)、ユニバーサルデザイン(UNI-VERSAL DESIGN)の4つの軸をコンセプトに開発し、2005年の発売以来好評を博してきたが、このたび、更にこの4つの軸を進化させてモデルチェンジし発売した。

今回のモデルチェンジの特長は次のとおりである。

(1) 可変速エレベーターシステムの更なる進化

当社のエレベーターの大きな特長である可変速エレベーターシステムは、エレベーターのかごとおもりの質量バランスを利用し、中間負荷時にエレベーターを定格速度以上の速度で走行させるものである。このたび、この速度領域を標準形エレベーターで業界最高速^(注1)となる最高速度120m/minまで高め、移動性能を更に向上させた。

(2) 新デザインの採用

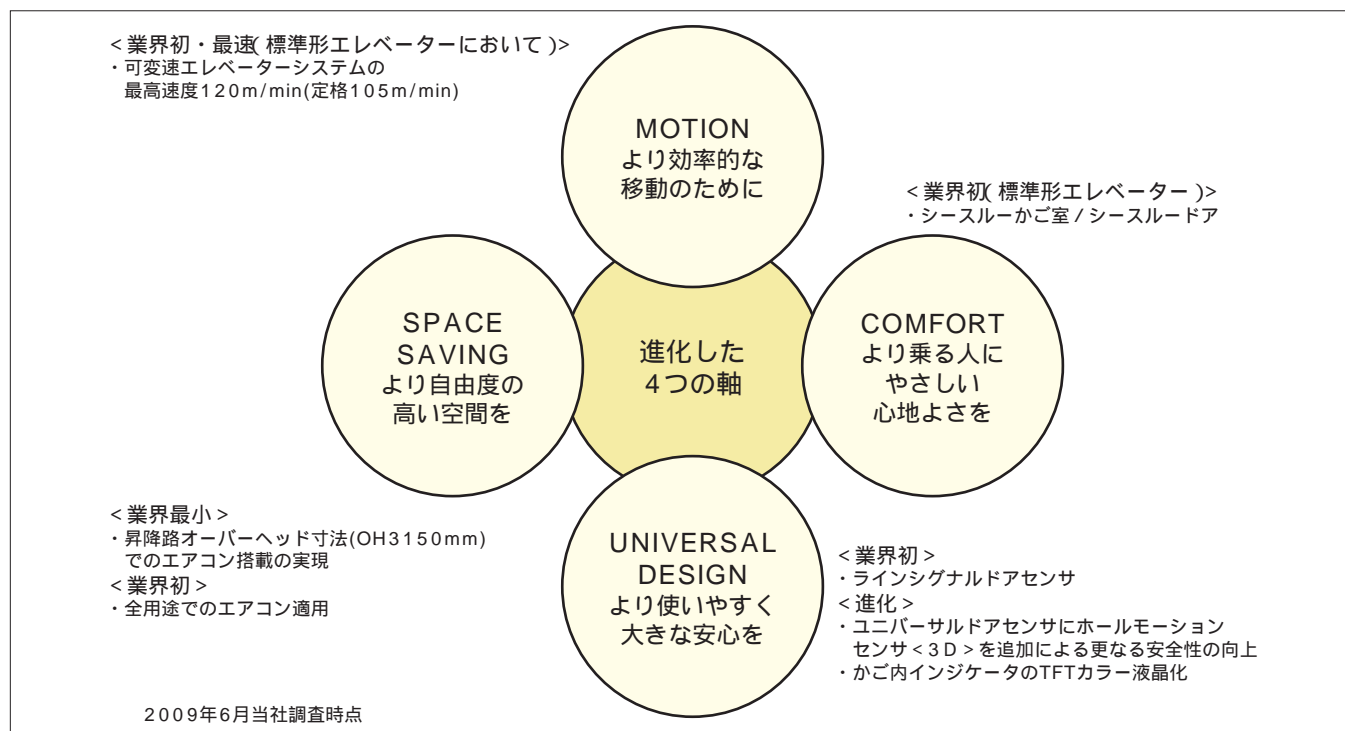
シンプル・ミニマル及び素材感の要求が高い建築デザイ

ンとの整合性を追求し、素材感の高い化粧鋼板、シースルーかご室・シースルードアを開発した。また、当社が他社に先駆けて行ってきたユーザービリティ評価を着実に進め、TFT(Thin Film Transistor)カラー液晶のかご内インジケータによる、美しく読みやすい階床表示と、動画によって注意喚起する案内液晶インジケータを反映した製品作りによって、更に使いやすさを向上させた。

(3) 新ドアセンサ

これまでドア周りの安全のために“ユニバーサルドアシステム”として、マルチビームドアセンサ2D、気配りドア及び敷居間隔10mmを基本仕様としてきたが、このたび、更なる安全性向上のためにホールモーションセンサ<3D>を基本仕様に追加した。また、業界初^(注1)のシステムとなるラインシグナルドアセンサ(有償付加)を新開発して投入し、安全性能を向上させた。

(注1) 2009年6月当社調査時点



AXIEZのモデルチェンジの特長

今回のモデルチェンジでは、従来のAXIEZの4つの軸のコンセプトを更に進化させることをコンセプトとして開発を行った。可変速エレベーターシステムの最高速度120m/min、デザインの建築デザインとの整合性追求、新ドアセンサによるドア周りの安全性の向上が大きな特長である。